

日本初の女性首相として高市早苗氏が誕生しました。就任早々、自ら主導して解散に踏み切り、今月には総選挙が行われます。迷いなく局面を切り開き、強い意志で自らを前へ押し出す姿勢が、いまの若者にも受け入れられています。

さて、今回の特集テーマは「手術適応を考える」としました。小児外科診療において、手術は治療の中核を成す一方で、その適応判断は常に慎重さを求められます。とりわけ近年は、画像診断や内科的治療の進歩、低侵襲治療の普及により、「手術をするか否か」「いま行うべきか、待つべきか」という問いが、これまで以上に複雑になっています。

小児医療では、疾患そのものの自然経過だけでなく、成長・発達、家族の理解や価値観、社会的背景まで含めて判断する必要があります。そのため、手術適応は単なるガイドラインの当てはめではなく、個々の症例に即した総合的な意思決定であるべきです。特に、医療を取り巻く環境が大きく変化するなかで、診療の質と医療資源の適正な活用を両立させる視点も、いまや避けて通れない課題となっています。

本特集では、各分野の第一線で活躍されている先生方に、まさにその「考え方」を示していただきました。耳前瘻孔や膈ヘルニアといった日常診療で遭遇頻度の高い疾患から、先天性気管狭窄や高インスリン血症、乳児神経芽腫といった専門性の高い疾患まで、幅広いテーマを取り上げています。いずれの論考も、「なぜその時点で手術を選択するのか」「どのような条件で経過観察を選ぶのか」が明確に示されており、治療の妥当性を丁寧に検証する姿勢が一貫して感じられます。

手術適応を考えることは、裏を返せば「手術をしない勇気」を持つことでもあります。目の前の病気にとらわれることなく、患児の将来を見据え、必要十分な医療を提供するという原点に立ち返ることが、小児外科医に求められているのではないのでしょうか。

本特集が、日々の診療のなかで立ち止まり、考えるきっかけとなれば幸いです。最後に、ご多忙のなかご執筆いただいた諸先生方に、心より御礼申し上げます。

(古田繁行)

本誌
広告
取扱
い

文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-9-5
NK 本郷ビル 5 階 TEL 03-3814-8541 (代)
メディカ・〒105-0013 東京都港区浜松町 1-12-9
アド 第 1 長谷川ビル 2 階 TEL 03-5776-1853 (代)
文京メディ 〒113-0033 東京都文京区本郷 5-24-6
カル 本郷大原ビル 6 階 TEL 03-3817-8036 (代)

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は関東東京医学社が保有します。
・[COPY] < 出版者著作権管理機構 委託出版物 > 本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に一般社団法人出版者著作権管理機構 (TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

特集 気胸・膿胸

I. 特別寄稿

若年者自然気胸に対する最近の治療……………栗原正利

II. 気胸：手技・デバイス

慢性肺疾患を背景にした難治性気胸患者に対する

携帯型気胸ドレーナージキットの有効性……………八尋光晴
肺移植前の気胸に対し自己血による癒着療法を選択した 1 例

……………永嶋一貴
機能的片肺に生じた気胸に対側胸腔からアプローチした

1 手術例……………日高綾乃
……………山岡敏

III. 気胸：治療方針・症例

当院における小児自然気胸の治療方針と経験……………工藤公介

当院における気胸症例の臨床的検討……………丹羽夏海
気胸・巨大嚢胞を呈した新生児間質性肺気腫に対する

外科的介入……………盛島練人
自然気胸診断時に、先天性気管支閉鎖症の合併が疑われた

1 例……………二階公貴
胸痛を主訴に来院した自然血気胸の 1 例……………瀬諒紀

IV. 膿胸

当院における膿胸患者の後方視的検討……………廣川朋矢

膿胸に対する胸腔鏡手術の検討……………藤本隆士
短期間に発生したインフルエンザ罹患後の膿胸 4 例……………藤原柊都

連鎖球菌による膿胸の経験……………竹内優太
胸水培養およびマルチプレックス PCR 検査でも

起炎菌を同定し得なかった膿胸の 1 例……………西村雄宏

V. その他

出生後直後に縦隔気腫を発症し緊急手術を要した

胎児診断 CPAM の一例……………鈴木孝宣
間質性肺気腫による巨大肺嚢胞に対して嚢胞ドレーナージが

奏功した超低出生体重児の 1 例……………佐藤壮泰
心臓手術と同時に左肺嚢胞切除術を施行した 1 例……………住田桃子

大量胸水による呼吸障害を呈した前縦隔悪性リンパ腫に
対して胸腔鏡下生検が有用であった 1 例……………田中正史

名誉編集委員

秋山 洋 石原通臣 岩中 督
大沼直躬 大谷俊樹 土岐 彰
長島金二 橋都浩平 山崎洋次
横森欣司 北川博昭 越永従道
編集委員 金森 豊 浮山越史 世川 修
渡井 有 古田繁行 池田太郎
藤野明浩

小児外科

第 58 巻第 2 号

©2026 年 2 月 25 日発行

定価 3,190 円 (本体 2,900 円 + 税 10%)

編集

小児外科編集委員会

発行

株式会社 東京医学社

〒112-0006 東京都文京区小日向 4-5-16

URL <https://www.tokyo-igakusha.co.jp>

編集部 TEL 03-5810-1648 FAX 03-5810-1649

e-mail: shoge@tokyo-igakusha.co.jp

営業部 TEL 03-5810-1628 FAX 03-5810-1629

e-mail: hanbai@tokyo-igakusha.co.jp

2026 年年間予約購読料

①2026 年 1 月号～2026 年 12 月号 + 増刊号:

定価 49,280 円 (本体 44,800 円 + 税 10%)

②2026 年 4 月号～2027 年 3 月号 + 増刊号:

定価 49,280 円 (本体 44,800 円 + 税 10%)

(小児内科・小児外科 合同増刊号) ※前金予約購入に限り送料無料。